

令和3年度 宮城県特別支援教育将来構想審議会実地調査（案）について

令和3年6月9日

宮城県教育庁特別支援教育課

1 目的

宮城県特別支援教育将来構想、後期計画で整理された3つの優先課題の解決へ向けての「主な取組」について、毎年度3件程度を選定し、実地調査を行い、次回の審議会での評価をお願いします。
評価いただいた内容は、次期の宮城県特別支援教育将来構想に反映することとしています。

2 調査を実施する取組（案）

〈優先課題1：切れ目ない支援体制の取組〉

- 「主な取組」：連携体制の確立
- 事業名：（4）特別支援教育総合推進事業
- 事業内容：個別の教育支援計画作成の手引きの調製，個別教育支援計画作成指導研修会の開催
- 調査箇所：研修実施場所（2回予定：場所については今後調整）

〈優先課題2：多様な教育的ニーズに対応した教育環境〉

- 「主な取組」：通級による指導の推進
- 事業名：（10）非予算事業
- 事業内容：学級担任等と通級による指導担当教員の連携，小・中学校等，高等学校等での切れ目ない通級による指導の実施
- 調査箇所：宮城広瀬高校，貞山高校

〈優先課題3：インクルーシブ教育システムの構築〉

- 「主な取組」：共に学ぶ教育の推進
- 事業名：（8）共に学ぶ教育推進モデル事業
- 事業内容：モデル校による支援体制の構築，共に学ぶ教育推進体制の構築など
- 調査箇所：角田市（桜小学校，北角田中学校，角田高校），大崎市（松山小学校，松山中学校，松山高校）

3 日程（案）

令和3年9月～12月

4 その他

- 視察時間は事業の内容により、2時間程度とします。